



2023年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月12日

上場会社名 株式会社アイケイ
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜
 四半期報告書提出予定日 2022年10月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	3,314	4.3	93		104		83	
2022年5月期第1四半期	3,464	28.4	164		157		215	

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 85百万円 (%) 2022年5月期第1四半期 216百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	10.83	
2022年5月期第1四半期	27.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	6,889	2,333	33.3
2022年5月期	7,378	2,504	33.5

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 2,292百万円 2022年5月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		12.00	12.00
2023年5月期					
2023年5月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,839	4.0	13		18		99		12.97
通期	16,426	0.6	511		520		186		24.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期1Q	8,308,000 株	2022年5月期	8,308,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年5月期1Q	634,376 株	2022年5月期	634,376 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期1Q	7,673,624 株	2022年5月期1Q	7,840,424 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が第3回目まで進み、行動制限が緩和される中、新たな変異株による感染者の波が第7波として現れ、過去最高の感染者となるなど収束が見えない状況で推移いたしました。また、国際情勢の悪化、原材料費の高騰、急速な円安などの影響を受け、物価上昇が続くなどインフレが加速しており、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは当事業年度を2年目とする中期経営計画「IK Way to 2024」を進めており、企業価値向上を成し遂げる行動に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間のダイレクトマーケティング事業では、TVショッピングの主力商品として「EcoCa(エコカ)」、「コアラウンジ ウルトラ」、「オルビトレック」等の販売に注力いたしました。また、化粧品の実店舗である「SKINFOOD」では不採算店舗を新たに2店舗閉鎖したことから、当第1四半期連結累計期間の店舗数は直営店舗13店舗、FC店3店舗の16店舗になりました。また、「OLIVE YOUNG PB COSMETICS」は2店舗で変化ありません。

セールスマーケティング事業では、主力販路であります生協ルートでのPB商品比率アップを目指し、開発担当者の同行による営業の強化及び季節イベントに適した菓子ジャンルの提案を強化いたしました。また、店舗ルートでは韓国コスメma:nyo(魔女工場)との代理店契約を締結し、日本国内のバラエティストア等への販売を開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,314百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業損失93百万円（前年同四半期は164百万円の営業損失）、経常損失104百万円（前年同四半期は157百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円（前年同四半期は215百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

<ダイレクトマーケティング事業>

売上高は、TVショッピングにおいて媒体効率の改善を図るため、「EcoCa(エコカ)」、「コアラウンジ ウルトラ」、「オルビトレック」等の売上が堅調な商品の放映に絞られました。また、化粧品の実店舗である「SKINFOOD」店舗は直営店の不採算店2店舗を閉鎖し、当第1四半期連結累計期間の店舗数は直営店舗13店舗、FC店3店舗の16店舗になったことから、売上高は941百万円（前年同四半期比3.1%増）となり、営業損失は68百万円（前年同四半期は179百万円の営業損失）となりました。

<セールスマーケティング事業>

売上高は、通販ルートにおいてTVショッピング通販等への卸売が堅調であったことから、前年同四半期と比較し13.7%増収いたしましたものの、生協ルート、店舗ルートは前年実績を下回りましたことから2,256百万円（前年同四半期比7.6%減）となり、営業損失は21百万円（前年同四半期は12百万円の営業利益）となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は、主力商品となりましたチャットシステム「M-Talk」が引き続き堅調に推移していること等から、売上高は116百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、営業損失は5百万円（前年同四半期は8百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ576百万円減少しました。主な流動資産の変動は、「商品及び製品」が224百万円増加した一方で、「現金及び預金」が337百万円、「受取手形及び売掛金」が412百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ87百万円増加しました。主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が71百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ488百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ182百万円減少しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が300百万円増加した一方で、「買掛金」が116百万円、「未払金」が202百万円、「未払法人税等」が108百万円、それぞれ減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ135百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が138百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は4,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ170百万円減少しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が175百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、2022年7月14日に発表した業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,075,932	738,278
受取手形及び売掛金	2,612,223	2,199,839
商品及び製品	2,405,121	2,630,029
原材料及び貯蔵品	15,299	16,714
その他	445,800	393,438
貸倒引当金	△1,239	△1,179
流動資産合計	6,553,139	5,977,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	87,239	85,570
土地	80,216	80,216
その他(純額)	29,760	34,669
有形固定資産合計	197,216	200,456
無形固定資産		
のれん	72,038	145,044
その他	136,115	134,695
無形固定資産合計	208,153	279,740
投資その他の資産		
その他	430,979	443,026
貸倒引当金	△11,218	△10,559
投資その他の資産合計	419,761	432,467
固定資産合計	825,132	912,664
資産合計	7,378,271	6,889,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	893,214	777,036
短期借入金	800,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	692,777	647,564
未払金	720,741	518,391
未払法人税等	115,846	7,230
賞与引当金	33,530	15,685
事業損失引当金	15,660	19,921
その他	248,135	252,063
流動負債合計	3,519,906	3,337,892
固定負債		
長期借入金	1,044,007	905,474
退職給付に係る負債	140,835	144,700
その他	168,875	168,000
固定負債合計	1,353,717	1,218,174
負債合計	4,873,623	4,556,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	620,949	620,949
資本剰余金	680,412	680,412
利益剰余金	1,401,804	1,226,578
自己株式	△233,023	△233,023
株主資本合計	2,470,143	2,294,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165	1,149
為替換算調整勘定	△902	△3,703
その他の包括利益累計額合計	263	△2,554
新株予約権	34,240	41,356
純資産合計	2,504,647	2,333,718
負債純資産合計	7,378,271	6,889,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	3,464,294	3,314,531
売上原価	1,883,412	1,876,126
売上総利益	1,580,882	1,438,404
販売費及び一般管理費	1,745,522	1,531,924
営業損失(△)	△164,640	△93,519
営業外収益		
受取利息	268	205
受取手数料	238	257
為替差益	672	624
出向負担金	4,500	—
助成金収入	1,365	—
未払配当金除斥益	1,019	1,372
その他	615	1,808
営業外収益合計	8,680	4,268
営業外費用		
支払利息	1,583	2,451
事業損失引当金繰入額	—	8,430
退店違約金	—	4,232
その他	8	—
営業外費用合計	1,591	15,114
経常損失(△)	△157,551	△104,365
特別利益		
課徴金引当金戻入額	13,943	—
商標権譲渡益	—	30,000
特別利益合計	13,943	30,000
特別損失		
固定資産除却損	844	—
投資有価証券評価損	—	7,045
顧客補償等対応費用引当金繰入額	95,523	—
減損損失	—	25,022
特別損失合計	96,367	32,068
税金等調整前四半期純損失(△)	△239,975	△106,434
法人税等	△22,314	△24,193
四半期純損失(△)	△217,661	△82,240
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,618	902
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△215,042	△83,143

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純損失(△)	△217,661	△82,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	990	△16
為替換算調整勘定	103	△3,703
その他の包括利益合計	1,093	△3,720
四半期包括利益	△216,567	△85,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△213,989	△85,960
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,577	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積りに関する新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は2022年9月13日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決定し、2022年9月30日に払込みが完了しました。

処分内容の概要は以下のとおりです。

(1) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 13,100株
(2) 処分価額	1株につき 445円
(3) 処分総額	5,829,500円
(4) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。)3名 13,100株
(5) 払込期日	2022年9月30日